



	できごと	内 容
1	「G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合」志摩市で開催	各国大臣や関係者等に、英虞湾サンセットクルーズや地元食材の活用、海女・真珠のPRなどを通じて、市の魅力を十分に発信することができた。千羽鶴プロジェクト、花いっぱい運動など、子どもたちや市民の皆さんとおもてなしの準備を行い、会合当日は、東海中学校郷土芸能クラブによる「安乗の人形芝居」上演、神明小学校児童による「こども記者」など、若い世代が大いに活躍した。
2	「全国豊かな海づくり大会の式典行事」志摩市で開催決定	令和7年秋に三重県で開催される「第44回全国豊かな海づくり大会」の式典行事会場が志摩市阿児アリーナに決定。昭和59年の第4回大会を浜島町の浜島港で開催して以来、三重県での開催は41年ぶり。市ではプロジェクトチームを発足し準備に取り組んでおり、大きな動きとしては、令和6年秋に1年前イベントが、南伊勢町宿田曾漁港で開催される予定。
3	志摩市に賑わいが戻った！	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、これまで中止や規模縮小していた様々な行事やイベントが4年振りに開催された。市内外からたくさんの方が訪れ賑わい、多くの方に志摩市の行事などを楽しんでもらうことができた。
4	志摩市の若い世代が大活躍	G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合での東海中学校郷土芸能クラブ、こども記者、社会人相撲等で優勝の竹内宏晟さん、WSL プロジュニアアジアツアー（ニアスプロジュニア）等で優勝の川瀬心那さん、東海中学校3年生でJOC第54回U16陸上競技大会女子砲丸投げ等で優勝の小川莉緒さん、消防職員の第51回全国消防救助技術大会出場など、志摩市の若い世代が大活躍した。
5	スペイン・トライアスロン連盟 (FETRI) とホストタウン交流覚書締結	5月に市長がスペインを訪れ、スペイン・トライアスロン連盟との今後の事業実施に向けた覚書を締結し協働して発展していくことを確認した。また、「伊勢志摩・里海トライアスロン」にスペイン・トライアスロン連盟の選手2人が初めて参加し、市内の小中学校で児童と交流するなどホストタウンとしての取り組みを進めた。
6	しまスマイル商品券を販売	物価高騰の負担軽減策として、市民を対象にプレミアム率が200%の「しまスマイル商品券」を販売。1冊6,000円分（千円券6枚つづり）を1人1冊まで、2,000円で購入できるもので、43,323冊を販売した。
7	志摩市を中心に撮影された映画「親のお金は誰のもの 法定相続人」が公開	この地域と志摩の真珠を盛り上げたいという思いで活動してくれた制作委員会の皆さんだけでなく、市民の皆さんもケータリングスタッフ等として撮影をサポート！キャストの皆さんも、志摩市での滞在を満喫され、舞台挨拶などでも志摩市のことに触れていただき、多くの人に知ってもらったきっかけとなった。
8	志摩市観光農園来園者数が増加！コキアも人気！	4月から開園した志摩市観光農園では、ひまわりやコスモスなどのほか、約5,200株のコキアを植え、多くの人で賑わった。 今年度の来園者数は、52,114人で、前年度より約23,000人増加した。
9	インバウンド誘客に向けての取り組み。フランスでトップセールスを実施。	伊勢志摩とその周辺地域が観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」のモデル観光地に選定されたことを受けて、伊勢志摩地域の魅力を伝え、海外からの観光客を呼び込もうと、伊勢志摩観光コンベンション機構を構成する伊勢、鳥羽、志摩の3市長がフランスを訪問し、合同でトップセールスを実施した。
10	国道167号恵利原-五知間のトンネルの貫通式開催。	令和6年度中に開通予定の国道167号恵利原-五知間のトンネルの貫通式が7月に行われた。また、トンネル命名応募件数は37件、銘板揮毫の応募件数は69件あり、名称は「おうむ石（せき）トンネル」に決定した。